

市町村の望ましい姿について（たたき台）
（基礎自治体としてのあるべき姿）

今後の市町村の望ましい姿とは何か。

市町村を取り巻く環境の大きな変化あり。

《地方分権の進展（権限移譲の流れと多様化、複雑化し増大する行政需要）

人口減少・少子高齢社会の進展、広域的な行政需要（生活圏の一体性、広域行政）、
厳しい財政状況 等》

これらの変化に対応し、

- ・ 住民の暮らしに最も身近な市町村は、地域経営の主役として、
- ・ 地域課題に対し、自ら考え行動し、自らの責任のもとで、
- ・ 将来にわたり持続的に行政サービスを維持・向上していくため、
- ・ 個性豊かな魅力あふれる地域を創造していくことが求められる。

そのためには、

- ・ 新たな行政課題に対応できる職員体制の維持、専門性を備えた人材の確保・育成
- ・ 将来的にも安定した財政運営の確保
などの行財政基盤の強化
- ・ さらに、これからの自治は「住民と行政との協働」が重要であることから、住民・
コミュニティー・NPOなどの多様な主体による、自主的・主体的な地域づくりの
ための活動を一層促進する必要がある。